

25夏季要求の前進をめざし 仲間づくりに全力あげよう



みんなで声をあげて、組織拡大・強化につなげようと思意統一

大阪自治労連 第96回中央委員会を開催

大阪自治労連は5月6日、第96回中央委員会を大阪グリーン会館で開催し、「2025夏季闘争方針」をはじめ、各議案を全会一致で採択しました。議長団を選出し、坂田執行委員長の開会あいさつ、仁木書記長から夏季闘争方針案を提案しました。13人の討論をふまえ執行部答弁、特別決議「参議院選挙で政治を変え、私たちの要求を前進させよう」を確認し、丹野副委員長の閉会あいさつと団結ガンバローで締めくくりました。

3つの成果を 夏季闘争につなげて

執行部を代表して坂田委員長は、夏季闘争方針の具体化に向



冒頭あいさつする坂田委員長

け、25国民春闘での「新しい仲間が組合加入した」「春闘交渉で粘り強くたたかい貴重な前進を勝ち取った」「岸和田市長選と島本町長選で住民共同での勝利」という3つの成果を取り上げ、夏季闘争での「自治体の雇用者責任の発揮を求め賃金・労働条件の改善へ」「住民のくらしと環境を守る自治体づくり」「参議院選挙で政治を変えよう」「要求実現へ仲間を増やそう」と4つの行動を提起し、中央委員に呼びかけました。

対話と学びあいを「つながるひろがる」仲間づくり

枚方 仲間をつくろう大作戦で「共済・労金説明会」を企画。月1回「お菓子のつかみ取り」など、組合を身近に感じてもらい取り組みをすすめる／堺 歓迎会は136人の参加で大きく成功し、スタッフが考えた言葉でアピールして当日加入につながった。青年部の復活に向けてがんばりたい／貝塚 新採の加入と役員の世代交代を見通した組織強化が重要。離職者も増えており、組合員の声を聞いて仲間を増やしたい／東大阪 歓迎会は「寿々屋いちご大福プレゼント」効果から新採の約半数が参加して交流。若手役員の自信につながった。病院労組では共済の説明会で加入してくれた。

賃上げと労働条件改善へ

枚方 自治労は夏の交渉はしない。夏期休暇の取得期間を延長したが「従来3か月で5日も取得できない体制が大問題」と追及したい／羽曳野 財政難で「新庁舎建設計画」が難航。自治労は組合を

単組からの 発言要旨

職場の声を聞いて当事者を力に 切実な夏季要求を前進させよう

解散して市職労だけ。職場の声を交渉にいかし要求を前進させたい／吹田 60歳以上の仲間から「生活できない」との声。脱退の相談理由では一つに「物価高騰」があり、生活改善を求めて前進させたい。

住民に責任もてる職場を

吹田 採用辞退や退職者が多くて保育職場も大きな問題に。「他市や企業に転職」が主な理由だが、前の維新市政時の8号給引下げが影響している／泉大津 保育職場で年休が平均5日しか取得できない。当局は夏期休暇の削減を狙っている。本庁職員の要求をつかみ仲間づくりにつなげたい／東大阪 保健師など専門職に応募がなく、子ども家庭センター建設など計画が延期。賃上げや職場環境の改善など要求運動をすすめたい。

公共を守り

住民の手に取り戻そう

岸和田 市長選は市民の良識が示された。市民や職場の声を反映して佐野市長と話しあっていきたい／吹田 12人の会計年度任用職員雇い止め交渉で、組合加入した当

事者が追及し、当局から「雇用確保の努力をしていく」と回答させた／松原 異常な「高ストレス状態」職場実態で、退職者100人で危機的状況。松原市政の転換をめざし市民と一緒にがんばりたい／守口 公立子ども施設全廃の計画問題で、市内関係者との懇談でも「公立施設は残す必要あり」との意見を得たのでがんばりたい／大阪市学童指導員労組 指導員の専門性を活かす「実践フェス」を開催。大阪市に要求する根拠を可視化させて専門職に見合う賃金や労働条件など学習を深めていきたい。

憲法まもり平和な世界を

婦人部 ハラスメントは人権侵害でメンタルヘルスと密接な関係。ジェンダー平等アクションプランの具体化や婦人部活動のあり方など議論したい／門真 不当処分撤回のたたかいで多くの支援に感謝。裁判闘争をつうじて職場の団結を強めてがんばる／東大阪 「平和のための戦争展」でプレ企画を本庁1階で開催する。職場の組合員に千羽鶴を呼びかけ、みんなが参加する平和の取り組みをめざす。

今月のキーワード

7月の参議院選挙

昨年10月の衆院選で自民党が大敗して、30年ぶりに少数与党となっています。7月の参議院選挙で与野党勢力図がどう変化するのか。国会は参議院・衆議院「二院制」で、参議院の任期は6年で衆院の4年よりも長く、任期途中の解散はありません。参議院は6年間の議員地位が保障されるので、「良識の府」とも呼ばれています。参議院では3年ごとに、定数248の半数124を入れ替える選挙を実施します。

今月のキーワード

夏季闘争

人事院は、「民間給与実態調査」（今年は4月23日～6月13日）を実施し、公務労組連絡会との交渉を経て、8月初旬に国家公務員賃金等の勧告を出します。最賃の引き上げ、春闘期の民間賃上げで4年連続プラス勧告が期待されます。府労組連・市労組連・大阪衛都連各単組は、自治体当局に対して夏季要求書を提出し、前進回答を勝ち取るとともに、賃金確定闘争に向けた大幅賃上げの実現につながる交渉を展開しています。